

海軍公報

第三千六百二十六號

大正十三年十二月一日(月)

海軍大臣官房

○令達

力一官房第三六二三號

登載

大正十三年度歲出臨時部細節科目左ノ通削除ス

大正十三年十一月三十日

海軍大臣 財部 彪

軍備補充費、軍艦製造費

造 船 費	造 兵 費						
第四號中型巡洋艦 (大井)	第七號甲鐵戰艦 (長門)	呂號第二十一潛水艦 (舊第三十九潛水艦)	砲艦安宅	呂號第十九潛水艦 (舊第三十六潛水艦)	第五號中型巡洋艦 (木曾)	第三號中型巡洋艦 (北上)	
第五號中型巡洋艦 (木曾)	第八號甲鐵戰艦 (陸奥)	呂號第十七潛水艦 (舊第三十七潛水艦)	砲艦安宅	呂號第三十八潛水艦 (舊第三十八潛水艦)	第六號中型巡洋艦 (長良)	第四號中型巡洋艦 (大井)	
第八號中型巡洋艦 (名取)	第一號中型巡洋艦 (球磨)	呂號第五十七潛水艦 (舊第四十六潛水艦)	特務艦石廊	呂號第二十九潛水艦 (舊第三十九潛水艦)	第八號中型巡洋艦 (名取)	第三號一等驅逐艦 (澤風)	
砲艦安宅	第二號中型巡洋艦 (多摩)	特務艦神威	特務艦鶴見	呂號第二十一潛水艦 (舊第三十九潛水艦)	第五號一等驅逐艦 (濰風)	第四號一等驅逐艦 (島風)	

海軍公報 第三六二六號 大正十三年十二月一日

一一二七

1306

第四號二等驅逐艦 (栗)	造兵費	驅逐艦 菱	呂號第五十五潛水艦 (舊第二十九潛水艦)	呂號第二十五潛水艦 (舊第四十三潛水艦)
	造兵費	第三號二等驅逐艦 (榆)	驅逐艦 蓼	呂號第五十四潛水艦 (舊第二十八潛水艦)
		第二號二等驅逐艦 (樞)	驅逐艦 蕨	呂號第五十三潛水艦 (舊第二十七潛水艦)
		第一號二等驅逐艦 (樞)	第十三號二等驅逐艦 (葵)	呂號第五十二潛水艦 (舊第二十六潛水艦)
		驅逐艦 沼風	第十二號二等驅逐艦 (菊)	呂號第五十一潛水艦 (舊第二十五潛水艦)
		驅逐艦 野風	第十一號二等驅逐艦 (藤)	呂號第五十潛水艦 (舊第二十四潛水艦)
		第十二號一等驅逐艦 (帆風)	第十號二等驅逐艦 (薄)	呂號第二十四潛水艦 (舊第二十二潛水艦)
		第十一號一等驅逐艦 (太刀風)	第九號二等驅逐艦 (萩)	呂號第十三潛水艦 (舊第二十三潛水艦)
		第十號一等驅逐艦 (夕風)	第八號二等驅逐艦 (栴)	驅逐艦 葦
		第九號一等驅逐艦 (秋風)	第六號二等驅逐艦 (竹)	驅逐艦 蕙
		第八號一等驅逐艦 (沙風)	第五號二等驅逐艦 (梨)	驅逐艦 蓮

力

官房第三六二四號

大正十一年四月官房第一三〇三號海軍購買名簿中左ノ通改ム

大正十三年十一月三十日

海軍大臣 財部 彪

呂號第五十六潜水艇 (舊第三十潜水艇)	呂號第五十七潜水艇 (舊第四十六潜水艇)	呂號第十九潜水艇 (舊第三十六潜水艇)	呂號第三十一潜水艇 (舊第三十七潜水艇)	呂號第二十一潜水艇 (舊第三十九潜水艇)	呂號第二十四潜水艇 (舊第四十二潜水艇)
呂號第三十二潜水艇 (舊第三十一潜水艇)	呂號第三十三潜水艇 (舊第三十三潜水艇)	呂號第三十八潜水艇 (舊第三十八潜水艇)	呂號第三十九潜水艇 (舊第三十九潜水艇)	呂號第四十一潜水艇 (舊第四十一潜水艇)	呂號第四十二潜水艇 (舊第四十二潜水艇)
第五十五潜水艇	第五十六潜水艇	第五號 特務艦 (佐多)	第六號 特務艦 (野間)	第五號 特務艦 (佐多)	第六號 特務艦 (野間)
特務艦 石廊	特務艦 神威	特務艦 神威	特務艦 神威	特務艦 神威	特務艦 神威

- 一 地金、鑽石類 七項ヲ削ル
- 一 地金、鑽石類 一ノ項中「揖斐川電氣株式會社」ノ行ヲ削ル
- 一 地金、鑽石類 一ノ項中「藤田鑛業株式會社」、「揖斐川電氣株式會社」及「田中鑛山株式會社」ノ各行ヲ削ル

二 金屬材料類中「一ノ項ノ二」ヲ「一ノ項ノ三」トシ左ノ一ノ項ヲ加フ

海軍公報 第三六二六號 大正十三年十二月一日

一二二九

<p>冷質引拔鋼管 但シ砲塔内水壓 管、水罐式罐管、 蒸気管、給水送 管、氣蓄器用鋼 管、重油加熱器 用管ヲ除ク</p>	<p>住友合資會社</p>	<p>大阪市東區北濱五丁目</p>	<p>伸銅所</p>	<p>大阪市北區安治川上 通二丁目</p>
<p>二 金屬材料類 四項中 日本鋼管株式會社ノ工場所在地ニ「神奈川縣橋郡田島村大字渡田字若尾新田二七三〇」ヲ加フ</p>	<p>日本鋼管株式會社</p>	<p>神奈川縣橋郡田島村 大字渡田字若尾新 田二七三〇</p>		
<p>二 金屬材料類 五項ノ二ノ次へ左ノ一項ヲ加フ</p>	<p>住友合資會社</p>	<p>大阪市東區北濱五丁目</p>	<p>伸銅所</p>	<p>大阪市北區安治川上 通一丁目 東京府荏原郡世田 谷町</p>
<p>二 金屬材料類 二四項中「(但シ當分ノ同外國品)ヲ併用スルコトヲ得」ヲ「(但シ當分ノ同航空機用發動機ニ使用スル)モノニ限リ外國品ヲ併用スルコトヲ得」ト改メ同工場所在地ニ「東京府荏原郡大崎町」ヲ加フ</p>	<p>「東京府荏原郡大崎町」ヲ加フ</p>	<p>「東京府荏原郡大崎町」ヲ加フ</p>		
<p>三 機械、器具類 六項中「米子坩堝株式會社」ノ行ヲ削ル</p>	<p>「大和ドッセル製作所」ノ行ヲ左ノ通改メ</p>	<p>「大和ドッセル製作所」ノ行ヲ左ノ通改メ</p>		
<p>上 島 慶 篤</p>	<p>神奈川縣川崎市新川通二二</p>	<p>大和ドッセル製作所</p>	<p>神奈川縣川崎市新川通二二</p>	
<p>三 機械、器具類 一三項中「日本計器製造株式會社」ノ行ヲ削ル</p>	<p>「日本計器製造株式會社」ノ行ヲ削ル</p>	<p>「日本計器製造株式會社」ノ行ヲ削ル</p>		
<p>四 電氣機械、器具材料類 一九、二〇及二一項中「愛知時計電機株式會社」及「日新電機株式會社」ノ各</p>	<p>「愛知時計電機株式會社」及「日新電機株式會社」ノ各</p>	<p>「愛知時計電機株式會社」及「日新電機株式會社」ノ各</p>		

1310 1309

<p>冷引拔鋼管 但シ筒塔内水壓 管、水罐式鋼管 蒸気管、給水送 管、氣密器用鋼 管、重油加熟器 用管ヲ除ク</p>	<p>住友合資會社</p>	<p>大阪市東區北濱五丁目</p>	<p>仲銅所</p>	<p>大阪市北區安治川上 通一丁目</p>
<p>日本鋼管株式會社</p>	<p>神奈川縣橋郡田島村</p>	<p>神奈川縣橋郡田島 村大字渡田字若尾新 田二七三〇</p>	<p>仲銅所</p>	<p>大阪市北區安治川上 通一丁目</p>
<p>二 金屬材料類 四項中「日本鋼管株式會社」ノ工場所在地ニ「神奈川縣橋郡田島村大字渡田字若尾新田二七三〇」ヲ加フ</p>	<p>住友合資會社</p>	<p>大阪市東區北濱五丁目</p>	<p>仲銅所</p>	<p>大阪市北區安治川上 通一丁目</p>
<p>二 金屬材料類 五項ノ二ノ次ヘ左ノ一項ヲ加フ</p>	<p>東京エ〇工業株式會社</p>	<p>東京府荏原郡世田ヶ谷町</p>	<p>仲銅所</p>	<p>東京府荏原郡世田ヶ 谷町</p>
<p>二 金屬材料類 二項中「株式會社安來製鋼所」ノ行ヲ削ル</p>	<p>東京エ〇工業株式會社</p>	<p>東京府荏原郡世田ヶ谷町</p>	<p>仲銅所</p>	<p>東京府荏原郡世田ヶ 谷町</p>
<p>二 金屬材料類 二四項中「<small>(但シ當分ノ間航機用發動機ニ使用スル)</small>」ヲ<small>(モノニ限リ外國品ヲ併用スルコトヲ得)</small>ト改メ同工場所在地ニ「東京府荏原郡大崎町」ヲ加フ</p>	<p>株式會社安來製鋼所</p>	<p>東京府荏原郡大崎町</p>	<p>仲銅所</p>	<p>東京府荏原郡大崎町</p>
<p>三 機械、器具類 六項中「米子坩堝株式會社」ノ行ヲ削ル</p>	<p>米子坩堝株式會社</p>	<p>米子坩堝株式會社</p>	<p>仲銅所</p>	<p>米子坩堝株式會社</p>
<p>三 機械、器具類 一二項中「大和ドリル製作所」ノ行ヲ左ノ通改メ<small>(直徑六ミリ以下)</small></p>	<p>大和ドリル製作所</p>	<p>大和ドリル製作所</p>	<p>仲銅所</p>	<p>大和ドリル製作所</p>
<p>上 島、慶</p>	<p>神奈川縣川崎市新川通二二</p>	<p>神奈川縣川崎市新川通二二</p>	<p>仲銅所</p>	<p>神奈川縣川崎市新川通二二</p>
<p>三 機械、器具類 一二項中「日本計器製造株式會社」ノ行ヲ削ル</p>	<p>日本計器製造株式會社</p>	<p>日本計器製造株式會社</p>	<p>仲銅所</p>	<p>日本計器製造株式會社</p>
<p>四 電氣機械、器具材料類 一九、二〇及二一項中「愛知時計電機株式會社」及「日新電機株式會社」ノ各</p>	<p>愛知時計電機株式會社</p>	<p>愛知時計電機株式會社</p>	<p>仲銅所</p>	<p>愛知時計電機株式會社</p>

1310 1309

<p>行ヲ削ル</p> <p>四 電氣機械、器具材料類 二三、二四及二五項中「大都電氣株式會社」ノ行ヲ削ル</p> <p>四 電氣機械、器具材料類 二六項中「津田電線合名會社」ノ行ヲ削ル</p> <p>四 電氣機械、器具材料類 二九項ノ二ノ次へ左ノ一項ヲ加フ</p>	<p>二九 ノ三</p> <p>モリブデン線及 同棒、ステン線 タンクス 及同棒、 以上電氣觸着片 及其加工品</p> <p>日本冶金株式會社</p> <p>三 大阪市北區堂島濱通三丁目</p> <p>門司市小森江町五三八ノ二</p>	<p>五 計器、通信器類 三、四及五項中「日本電氣株式會社」ノ行ヲ削ル</p> <p>五 計器、通信器類 六項ヲ左ノ通改ム</p>	<p>六 「アネロイド」 晴雨計 山側晴雨計</p> <p>柳 直 勝</p> <p>東京府荏原郡目黒町下目 黒五四八</p> <p>柳測器製 作所</p> <p>東京府荏原郡目黒町下 目黒五四八</p>	<p>五 計器、通信器類 一二及一三項中「愛知時計電機株式會社」ノ行ヲ削ル</p> <p>五 計器、通信器類 一七項中「<small>（但シ當分ノ間外國品ヲ併用スルコトヲ得）</small>」ヲ削リ 同工場所在地及同類二三項中株式會社服部時計店ノ工場所在地ニ「東京市本所區柳島町二六」ヲ加フ</p> <p>五 計器、通信器類 二三項中日本電氣株式會社ノ工場所在地ニ「東京市芝區三田四國町」ヲ加フ</p> <p>六 錨鎖「ロープ」類 二項中「株式會社關東製鎖所」ノ行ヲ削ル</p> <p>六 錨鎖「ロープ」類 三及四項「橫濱製綱株式會社」ノ行ヲ削ル</p> <p>七 石炭、コークス類 一四項中「芳雄骸炭製造所」、「株式會社宗像商會」、「北九州瓦斯株式會社」及「合</p>
---	---	---	--	---

海軍公報 第三六二六號 大正十三年十二月一日

一一三三

八 名會社鈴木石炭商店ノ各行ヲ削ル
 煉瓦、セメント、土砂類 三、四、及五項中「日本耐火煉瓦株式會社」ノ行ヲ削ル
 一〇 硝子類 一項ノ次へ左ノ一項ヲ加フ

二	光學 硝子	日本光學工業株式會社	東京市芝區三田豐岡町一三	大井工場 東京府荏原郡大井町 五四四七	芝工場 東京市芝區三田豐岡 町一三
一四	藥品類	二項ノ次へ左ノ通加フ			
三	火藥製造用 發煙硫酸	東京硫酸株式會社	東京府南葛飾郡大島町七丁目九五七	東京府南葛飾郡大島 町七丁目九五七	
四	火藥製造用 アセトン	北河 豊次郎 日本醋酸製造株式會社	静岡縣志多郡島田町 東京市本所區柳島横川町三 一五	北河製品所 静岡縣志多郡島田町 柳島工場 東京市本所區柳島町 横川町三	東京府南葛飾郡寺島 村二七一八
五	火藥製造用 グリセリン	三輪 善兵衛 合同油脂グリセリン 株式會社	東京市日本橋區橋町四丁目 東京市日本橋區馬喰町二丁目一 二	向島工場 東京府北葛飾郡王子 町大字豐島 東京市本所區向島中 ノ郷八八	王子工場 東京府北葛飾郡王子 町大字豐島 東京市本所區向島中 ノ郷八八
六	火藥製造用 ペタナフトール	合資會社長瀬商會 三共株式會社	東京市日本橋區室町三丁目 一〇	大坂府西成郡千舟町 大字佃 東京府南葛飾郡吾嬬 町大字小村井八〇〇	東京府北葛飾郡日暮 里町谷中本一五〇

力
登

<p>七 火藥製造用 ビクリン、酸</p>	<p>三井鑛山株式會社 東京市日本橋區駿河町一 由良染料株式會社 和歌山縣海草郡宮前村大字 小雜賀五一八</p>	<p>火藥類製 作所 福岡縣三池郡駛馬村 大字西米生字早鐘 岡山縣兒島郡日比町 大字和田</p>
<p>一六 絲、紐、布、氈類 一項中「帆布」ヲ「帆布（麻製）」ニ改ム</p>	<p>名古屋市西區上島町三一</p>	
<p>一七 雜品類 六項ノ二中「横濱化學工業株式會社」ノ行ヲ削ル</p>	<p>名古屋市西區上島町三一</p>	
<p>一七 油脂、蠟類 一五項ノ二中「海上ビルディング内」ヲ「(丸ノ内ビルディング内)」ニ改ム</p>	<p>海軍中將 大谷 幸四郎 海軍少將 高橋 壽太郎 海軍大佐 黒川 魁 海軍中佐 園田 實 海軍中佐 田畑 啓義 同 田畑 啓義</p>	
<p>大正十三年十一月二十八日 海軍大臣 財 部 彪</p>	<p>海軍大學校長在職中ハ參謀官ト心得ヘシ 海軍大學校教頭在職中ハ參謀官ト心得ヘシ 海軍大學校教官在職中ハ參謀官ト心得ヘシ 海軍省人事局ニ於テ服務スヘシ 海軍省出仕海軍少佐 犬塚 惟重 海軍大臣官房ニ於テ服務スヘシ 海軍省出仕海軍大尉 圓山 英勅 海軍省出仕海軍軍醫少佐 保利 信明 海軍省醫務局ニ於テ服務スヘシ(以上三明海軍大臣)</p>	

○訓令

海軍公報 第三六二六號 大正十三年十二月一日

一三三三

○ 辭 令

海軍中將 加藤 寛治
 横須賀鎮守府司令長官在職中俸七千圓ヲ賜フ
 海軍大佐 村瀬 貞次郎
 軍艦比叡在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
 海軍大佐 高橋 三吉
 軍艦扶桑在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
 海軍大佐 大湊 直太郎
 軍艦山城在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
 海軍大佐 藤田 尙徳
 軍艦霧島在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
 海軍大佐 今村 信次郎
 軍艦日向在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ(以
 上^三海軍省)
 海軍省人事局員海軍中佐 住山 徳太郎
 第一課勤務ヲ命ス(三^三海軍省人事局)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
 第三驅逐隊司令ハ十一月二十八日司令驅逐艦ヲ沙風ヨ
 リ灘風ニ變更セリ

○軍艦淀行動豫定

地名	着	發
吳	十二月三日	十二月一日
横須賀	十二月十日	十二月七日
小笠原二見	十二月十七日	十二月十二日
ヤツツ	十二月二十三日	十二月二十日
バラオ	十二月二十八日	十二月二十八日
アンガウル	十二月二十八日	十二月二十八日
バラオ	十四年一月二十八日	十二月二十八日
オレアイ	十四年一月二十九日	十二月二十八日
トラツク	二月一日	十二月二十八日
ボナベ	二月十日	十二月二十八日
クサイ	二月十八日	十二月二十八日
ヤル	二月二十四日	十二月二十八日
ボナベ	三月三日	十二月二十八日
トラツク	三月七日	十二月二十八日
サイパン	三月十八日	十二月二十八日
小笠原二見	三月二十四日	十二月二十八日
横須賀	三月二十九日	十二月二十八日

○特務艦劍埼行動豫定

地名	着	發
吳	十二月三日	十二月二日
徳山	十二月三日	十二月五日

吳	德	吳	德	吳
山	山			
十五	十一	九	五	
十七	日	日	日	
日				
	十五	十一	九	
	日	日	日	
	十七	日		
	日			

○學生入校期

イ、今回當校ニ入校スヘキ各種學生ハ十二月七日マテ

ニ着任セシメラレ度

追テ八日午前十時入校式施行ノ豫定

ロ、校内ニ學生寄宿舎ノ設備アリ尙當校ト第一上陸場

間ノ定期表ハ吳水交支社並第一上陸場ニ掲載ス

(海軍潜水學校)

豫備役海軍機關大佐正五位勳三等荒木洗一去月二十九日卒去、來ル三日午後二時ヨリ三時迄豊多摩郡杉並町字阿佐ヶ谷六三九(西武軌道成宗停留場附近)自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

○艦船所在

▲印(ハホシ)
指定ヲ要セス

○十二月一日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名▲、滿州、北上、磐手、日進、風翔、長門、阿蘇、山城、扶桑、▽迅鯨、口金剛、五十鈴

▽沖風、澤風、峯風、矢風、▽濰風、沙風、島風、夕風、浦風、白露、三日月、▽波風▲

沼風▲、驅一、野風、▽太刀風、帆風、羽風、秋風、▽驅七、驅三、驅五▲、驅九

潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、▽潛呂一三、潛呂一一、潛呂一二、▽潛呂五九、潛呂五七、潛呂五八、▽潛呂五五、潛呂五四、潛呂五六

▽掃一、掃二、掃三、夕立、夕暮、神風、初霜、如月、響

洲崎、朝日、武藏、松江、神威、富士、關東、青島

【浦賀】阿武隈、驅一一

【大湊】▽時津風、磯風、天津風、濱風

▽潛呂二〇、潛呂二一、潛呂二二

【吳】明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、勝力、淀、韓崎、矢矧、日向、鬼怒、大井、▽天龍▲、比叡、長鯨

▽谷風、江風、葵、菊、驅四、▽驅六、驅二▲、驅八▲、▽藤、萩、薄、葛

▽驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、潛波七、潛波八、▽潛呂五三、潛呂五一、▽潛呂一六、潛呂一四、潛呂一五、▽潛呂一九、潛呂一七、潛呂一八、潛呂二二、潛呂二二、▽潛呂二八、潛呂二七、潛呂二六、潛呂五一

浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、野間、能登呂▲、室戸、攝津、大和、膠州、劍崎、野島、間宮

驅一五

【大阪】神通

▽潛呂三一、潛呂六三、潛呂六四、潛伊一

【神戶】吾妻▲、春日

▽山風、檜、海風、榎

【舞鶴】最上▲、對馬、宇治、龍田、夕張、陸奥、霧島▲、▽由良、名取、長良▲、川内、若宮、常磐

▽桃、柳、檜、樺、▽樺、榊、竹、梨、梅、栗、柿、檜、▽蓬、蓮、菱、▽菱、葦、藪、葦、▽椿▲、榎▲、榎▲、桑▲、驅一七

▽潛呂一、潛呂二、潛呂二五、潛呂三

【佐世保】

▽山風、檜、海風、榎

最上▲、對馬、宇治、龍田、夕張、陸奥、霧島▲、▽由良、名取、長良▲、川内、若宮、常磐

▽桃、柳、檜、樺、▽樺、榊、竹、梨、梅、栗、柿、檜、▽蓬、蓮、菱、▽菱、葦、藪、葦、▽椿▲、榎▲、榎▲、桑▲、驅一七

▽潛呂一、潛呂二、潛呂二五、潛呂三

□ 潜呂二三、潜呂二四、□ 潜呂六一、潜呂六〇、
潜呂六二
掃四、潮、子日、春風、朝風、若葉、
初雪

【馬公】 駒橋
敷島、襟裳、知床、早稲

□ 松、柏、杉、榲

【鎮海】 □ 樺、桂、梅、楠
□ 潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三一

【旅順】 □ 桐、櫻、橘、樺
高崎

【亞港】 大泊
伏見、隅田、鳥羽

【上海】 勢多

【九江】 嵯峨

【漢口】 保津

【長沙】 比良

【宜昌】 堅田
【重慶】 隱戸
【タラカン】 八雲、淺間
【ピロカ】 出雲

【航海中】
鶴見 (十一月二十二日「タラカン」發)

鳴戸 (十一月二十二日 横須賀發「タラカン」へ)
尻矢 (十一月二十七日「タラカン」發「マニラ」へ)
佐多 (十一月二十九日 佐世保發「タラカン」へ)
▷ 利根、安宅 (一日 南京發「通州」へ)
石廊 (一日 大湊發「吳」へ)

(部内限一頁)

宗川

海軍公報

第三千六百二十七號

大正十三年十二月二日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房第三六四四號

皇太子殿下霞ヶ浦海軍航空隊ニ行啓被遊同隊各飛行
作業及海軍技術研究所霞ヶ浦出張所ノ風洞作業臺灣ノ
際本大臣ヲ御前ニ被召左ノ御詞ヲ賜リタリ誠ニ感激
ニ堪ヘス之レ畢竟關係各員ノ熱心精勵克ク其ノ職ニ盡
セル結果ニシテ本大臣ハ茲ニ深ク各員ノ勞ヲ多トスル
ト共ニ其ノ益ト發奮努力令旨ニ副ヒ奉ルヘキヲ期待ス
大正十三年十二月二日
海軍大臣 財部 彪

御詞

今親シク霞ヶ浦海軍航空隊及海軍技術研究所霞ヶ浦
出張所並各種飛行作業ヲ見テ曩ニ大正十一年ニ見タ
ル所ニ比シ其ノ進歩顯著ナルモノアルヲ欣ブ尙各員
益々奮勵努力センコトヲ望ム

海軍公報 第三六二七號 大正十三年十二月二日

官房第三六四五號

海軍技術研究所霞ヶ浦出張所ニ勤務スル者ニ對シテハ
旅費給與上霞ヶ浦ヲ勤務地ト看做ス
大正十三年十二月二日
海軍大臣 財部 彪

大正五年官房三九五號
附則ニ本号ヲ廢止
廢止

官房第八八六號ノ二

本年官房第八八六號糧食品代價表中醬油「五〇〇」ヲ
「六七〇」ニ、第一種漬物「六〇〇」ヲ「七〇〇」ニ、
第二種漬物「一、五〇〇」ヲ「二、五〇〇」ニ改メ
大正十三年十二月二日
海軍大臣 財部 彪

○通牒

官房第三六四六號

一三三九

大正十三年十二月二日

海軍次官 男爵 安保清種

各 廳 長 殿

寫眞撮影取締ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通陸軍次官ヨリ通牒ノ次第モ有之候
ニ付寫眞ヲ撮影セシムル場合又ハ個人ニ於テ撮影セン
トスル場合共之カ手續及取締ニ關シ遺憾無之様特ニ御
留意相成様致度
右申進ス

(別紙)

陸軍省發達陸普第二六五六號

要塞地帯内寫眞撮影取締ニ關スル件通牒

大正十三年七月十五日

陸軍次官 津野一輔

海軍次官 男爵 安保清種 殿

貴省關係事項ニシテ要塞地帯内ニ於テ寫眞ヲ撮影セシ
メラルル場合ニ於テハ相當取締アルコトト被存候ヘ共
近時寫眞ノ発行ニ伴ヒ屬々要塞地帯法違反者ヲ生シ軍
機保護上注意ヲ要スルモノト認メ嚴重取締ヲ莫遺算ナ

キヲ期スル様各要塞司令官ヘ指示相成候條爲念及通牒
候也

○ 辭 令

○大正十三年十二月一日

(各通)

- 永井 豊松
- 高山 敏郎
- 森田 逸雄
- 江田 氏麿
- 松原 周介
- 梶原 秀重
- 榊山 武雄
- 肝付 兼秋
- 戸高 秀俊
- 能勢 内助
- 坪内 正三
- 野上 久三
- 大杉 正三
- 水谷 一三
- 藤田 保三
- 高橋 修保
- 沖林 秀二

任海軍豫備一等兵曹

中村 義夫

任海軍豫備一等機關兵曹

復職ヲ命ス

休職海軍技手

森 茂

海軍技術研究所附ヲ命ス(以上 以上 以上 海軍省)

海軍技手

森 茂

海軍公報 第三六二七號 大正十三年十二月二日

一三四一

1320

○艦船所在

○廿三日 午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、樺名、滿州、北上、磐坂、日進、風翔、長門、阿蘇、山城、扶桑、下迅鯨、口金剛、五十鈴

沖風、澤風、峯風、矢風、濼風、沙風、島風、夕風、浦風、白露、三日月、波風、沼風、颯一、野風、太刀風、帆風、羽風、秋風、驅七、驅三、驅五、驅九

潛波一〇、潛波九、潛波二、潛波一三、潛波一、潛波一三、潛波五九、潛波五七、潛波五八、潛波五五、潛波五四、潛波五六、初霜、如月、櫻、洲崎、朝日、武藏、松江、神威、富士、關東、青島

【浦賀】阿武隈、驅一

【大湊】日時峰風、磯風、天津風、濱風

【吳】明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戶、勢、勝力、鞍馬、矢矧、日向、鬼怒、

大井、天龍、比叡、長鯨、谷風、江風、葵、菊、驅四、驅六、驅二、驅八、驅一、驅三、驅五、驅七、驅九

驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二、驅一三、驅一四、驅一五、驅一七、驅一八、驅一九、驅二〇、驅二一、驅二二、驅二三、驅二四、驅二五、驅二六、驅二七、驅二八、驅二九、驅三〇、驅三一、驅三二、驅三三、驅三四、驅三五、驅三六、驅三七、驅三八、驅三九、驅四〇、驅四一、驅四二、驅四三、驅四四、驅四五、驅四六、驅四七、驅四八、驅四九、驅五〇、驅五一、驅五二、驅五三、驅五四、驅五五、驅五六、驅五七、驅五八、驅五九、驅六〇、驅六一、驅六二、驅六三、驅六四、驅六五、驅六六、驅六七、驅六八、驅六九、驅七〇、驅七一、驅七二、驅七三、驅七四、驅七五、驅七六、驅七七、驅七八、驅七九、驅八〇、驅八一、驅八二、驅八三、驅八四、驅八五、驅八六、驅八七、驅八八、驅八九、驅九〇、驅九一、驅九二、驅九三、驅九四、驅九五、驅九六、驅九七、驅九八、驅九九、驅一〇〇

【大井】

野間、能登呂、室戸、攝津、大和、膠州、劍崎、間宮

【神戶】驅一五

【大阪】神戶

【德山】野島

【舞鶴】吾妻、春日

【佐世保】山風、檜、海風、櫻

最上、對馬、宇治、龍田、夕張、陸奥、霧島、由良、名取、長良、川内、若宮、常磐

【桃】柳、檜、樅、樺、榎、竹、梨

【榎】栗、柿、楓、蓬、蓮、蓼、菱

海軍公報 第三六二七號 大正十三年十二月二日

一二四三

【馬公】駒橋、杉、梅、楠
 【鎮海】樺、梅、楠
 【旅順】樺、梅、楠
 【亞港】大泊、高崎
 【上海】隅田、鳥羽
 【通州】利根、安宅
 【九江】勢多
 【漢口】磯崎
 【長沙】保律
 【宜昌】比良
 【重慶】比良
 【タラカン】八雲、淺間

【航海中】
 鶴見 (十一月二十二日「タラカン」發)
 鳴戸 (十一月二十二日「横須賀發」「タラカン」)
 尻矢 (十一月二十七日「タラカン」發「マニラ」)
 佐多 (十一月二十九日「佐世保發」「タラカン」)
 石廊 (一日大湊發「吳」)
 伏見 (一日上海發「南京」)
 淀 (一日吳發「横須賀」)

(部内限二頁)

海軍公報

第三千六百二十八號

海軍大臣官房

大正十三年十二月三日(水)

○ 通牒

官房第三六五七號

軍艦字治ト内地郵便局トノ間ニ開始致居リ候郵便物閉

礙交換ハ今般廢止セラレ候

大正十三年十二月三日

海軍省副官 洪 泰 夫

○ 辭令

○大正十三年十二月一日

任海軍屬
給八級俸

海軍省機關局附ヲ命テ

歸朝ヲ命ス

海軍省

海軍技術

海軍技術

池田參九郎

深山繁盛

深山繁盛

野口正雄

正雄

池田參九郎

池田參九郎

池田參九郎

池田參九郎

池田參九郎

池田參九郎

池田參九郎

池田參九郎

池田參九郎

海軍艦政本部附兼造兵監督助手ヲ免シ造兵監督助手
ヲ命ス
英國へ出張ヲ命ス(以上海軍省)

(各通)

第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局)

第四部ニ於テ勤務スヘシ 海軍造船少將 有田 延

第五部ニ於テ勤務スヘシ(以上海軍艦政本部長)

第一部第一課勤務ヲ命ス 海軍中佐 町田進一郎

第一部第二課勤務ヲ命ス 海軍少佐 武田哲郎

總務部第一課勤務ヲ命ス 海軍少佐 桑原虎雄

(各通)

第二部勤務ヲ命ス 海軍少佐 馬越喜七

總務部第三課勤務ヲ命ス 海軍主計中佐 林 貞雄

海軍公報 第三六二八號

大正十三年十二月三日

三四五

第四部勤務ヲ命ス	海軍造船大尉	中村 小四郎
第一部第一課勤務ヲ命ス	海軍造兵少佐	山田 幸五郎
第二部勤務ヲ命ス	海軍造兵大尉	岡村 純
第一部第一課勤務ヲ命ス	海軍造兵大尉	松永 誠吾
(各通)	海軍少佐	砂川 兼雄
	海軍造兵少佐	山田 幸五郎
	海軍技師	數森 敏郎
兼第三部勤務ヲ命ス(以上 <small>ナリ</small> 海軍艦政本部)	海軍少佐	中村 由吉
庶務課勤務ヲ命ス	海軍少佐	阿部 健
検査官職務執行ヲ命ス	海軍軍醫少佐	濱野 春男
醫務課勤務ヲ命ス	海軍主計大尉	神足 勝孝
會計課勤務ヲ命ス	海軍造兵少佐	樺山 喜造
(各通)	海軍造兵大尉	戸祭 圭太郎
研究部勤務ヲ命ス	海軍造兵大尉	戸祭 圭太郎
研究部ニ於テ服務スヘシ(以上 <small>ナリ</small> 海軍技術研究所)		

○ 雜 款

○首席監督官異動
 東京地方首席造船造兵監督官
 新 海軍大佐 山田 正興
 舊 同 後藤 進一

名古屋地方首席造兵監督官	新	海軍機關大佐	林 正男
	舊	海軍大佐	山田 正興
出張地	職	官	氏 名
名古屋	造兵監督官	機關中佐	多田 永昌
長崎	同	同	高崎 堅耕
東京	同	同	近澤 末太郎
同	同	機關大尉	佐伯 甚七
神戶	同	造兵少佐	齋尾 慶勝
○正誤			
本月一日公報令送欄官房第三六二三號中造船費欄中「呂號第十七潜水艦」トアルハ「呂號第十六潜水艦」ノ誤			
○出發			
歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍中佐谷本馬太郎ハ本月十八日横濱出港ノ汽船笠崎丸ニテ出發ノ豫定			

○艦船所在

指 定 ア 要 セ ス

○十二月三日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、山城、扶桑、迅鯨、口金剛、五十鈴

沖風、澤風、峯風、矢風、瀨風、汐風、島風、夕風、浦風、白露、三日月、波風、沼風、驅一、野風、木刀風、帆風、羽風、秋風、驅七、驅三、驅五、驅九

潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、潛波一三、潛波一、潛波一二、潛波五九、潛波五七、潛波五八、潛波五五、潛波五四、潛波五六

掃一、掃二、掃三、夕立、夕暮、神風、初霜、如月、響

洲崎、朝日、武藏、松江、神威、富士、關東、青島

【浦賀】

阿武隈、驅一

【大湊】

時津風、磯風、天津風、濱風

【吳】

明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戶、伊勢、勝力、韓崎、矢矧、日向、鬼怒

大井、天龍、比叡、長鯨、谷風、江風、葵、菊、驅四、驅六、驅二、驅八、藤、萩、薄、葛、驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、潛波七、潛波八、潛波五三、潛波五一、潛波一六、潛波一四、潛波一五、潛波一九、潛波一七、潛波一八、潛波五二、潛波五二、潛波二八、潛波二七、潛波二六、潛波五一

浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月

野間、能登呂、室戶、攝津、大和、膠州、間宮

驅一五

神通

潛呂三一、潛呂六三、潛呂六四、潛伊二

野島

吾妻、春日

山風、檜、海風、榎

霧島、對馬、宇治、龍田、夕張、陸奥、若宮、常磐

桃、柳、檜、樫、樺、榎、竹、梨、梅、栗、柿、楡、蓬、蓮、蓼、菱

佐世保

華、厥、董、
 驅一七
 潜呂一、潜呂二、潜呂三五、潜呂三、
 潜呂二四、
 潜呂六一、潜呂六〇、
 潜呂六二
 掃四、潮、子日、春風、朝風、若葉、
 初雪
 敷島、襟裳、知床、早朝
 【馬公】 駒橋
 松、柏、杉
 潜呂三九、潜呂三〇、潜呂三一
 【高雄】 楠
 【鎮海】 楓、桂、梅、楠
 潜呂二三
 【旅順】 桐、櫻、橘、樺
 【亞港】 大泊
 【上海】 隅田、鳥羽
 【通州】 利根、安宅
 【九江】 勢多
 【漢口】 嵯峨
 【長沙】 保律
 【宜昌】 比良
 【重慶】 堅田
 【マニラ】 尻矢
 【タラカン】 隠戸

【航海中】
 鶴見 (十一月二十三日「タラカン」發)
 鳴戸 (十一月二十二日 横須賀發「タラカン」へ)
 佐多 (十一月二十九日 佐世保發「タラカン」へ)
 石廊 (一日大湊發「吳」へ)
 伏見 (一日上海發「南京」へ)
 淀 (一日吳發「横須賀」へ)
 出雲八雲、淺間 (二日「ヒロ」發「アカブルコ」へ)
 潜呂四、潜呂五 (二日鎮海發「佐世保」へ)
 劍崎 (二日吳發「徳山」へ)
 高崎 (二日旅順發「鎮海」へ)

(部内限二頁)

海軍公報

第三千六百二十九號

大正十三年十二月四日(木)

海軍大臣官房

○ 辭令

海軍武官任用委員ヲ命ス
海軍軍醫大佐 高杉新一郎
海軍少將 安東昌喬
同 左近司政三
同 高橋壽太郎
同 渡邊玉樹
同 菊井信義
海軍大佐 黒川魁
同 住山德太郎
同 田畑啓義
同 鈴木嘉助
海軍少佐 丹下薫二
海軍機關大佐 遠藤九郎
海軍醫大佐 高杉新一郎
海軍學生銓衡委員ヲ命ス

(各通)

海軍大佐 向田金一
同 菊井信義
海軍中佐 高島田政耕

(各通)

海軍機關大佐 遠藤九郎
海軍軍醫大佐 今澤正冬
同 高杉新一郎
海軍軍醫中佐 柏崎治
海軍少將 左近司政三
軍生徒採用試験委員ヲ命ス

(各通)

海軍軍醫大佐 高杉新一郎
海軍軍醫少佐 佐藤民三郎
海軍軍醫學生藥劑學生主計學生及海軍造船學生造機學生造兵學生同候補者或生徒志願者身體検査委員ヲ命ス

海軍軍醫中佐 柏崎治
海軍豫備員志願者體格検査委員ヲ命ス

(各通)

海軍軍醫少佐 深田貫一
海軍軍醫大尉 今田以武生
海軍豫備員志願者身體検査委員ヲ命ス
海軍軍醫大尉 佐藤丑松
海軍豫備員志願者體格検査委員ヲ命ス
海軍中佐 青木宗作

海軍公報 第三六二九號

大正十三年十二月四日

二二四九

(各通)

海軍機關少佐 鈴木久武
海軍主計大佐 村上春一
海軍主計中佐 林貞雄

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

(各通)

海軍軍醫少將 雨宮量七郎
海軍大佐 常盤盛衛
海軍軍醫大佐 高杉新一郎
海軍主計大佐 村上春一

兵食研究調査委員會委員ヲ命ス

(各通)

海軍大佐 矢島健夫
同 菊井信義
海軍中佐 中村龜三郎
同 鈴木嘉助
海軍少佐 丹下薫二

(各通)

海軍機關大佐 遠藤九郎
海軍機關中佐 川原宏
同 中尾金房
海軍機關少佐 隈部富士雄
海軍軍醫大佐 高杉新一郎
海軍主計大佐 村上春一

恩賜研學資金受賞者餘衡委員ヲ命ス

軍艦三笠記念調査會委員長ヲ命ス

(各通)

海軍大佐 清藤德彌
海軍中佐 青木宗作
海軍少佐 井上成美

軍艦三笠記念調査會委員ヲ命ス

海軍少將 左近司政三
陸海軍行賞事務協定特別委員ヲ命ス
海軍少將 左近司政三
海軍大佐 佐藤巳之吉

(各通)

海軍武功調査委員ヲ命ス
大正三年乃至九年戰役從軍記章授與調査委員ヲ命ス
戰捷記章授與調査委員ヲ命ス
靖國神社祭典掛ヲ命ス
海軍中佐 洪泰夫
海軍大佐 枝原百合一
同 松平胖
海軍大尉 大森良三

(各通)

高等軍法會議判士ヲ免ス

(各通)

海軍大尉 廣田穰
海軍大尉 圓山英勅
同 小林正市
同 北浦豐男

高等軍法會議判士ヲ命ス

(各通)

海軍大佐 枝原百合一
同 松平胖
海軍大尉 大森良三
同 小島正

東京軍法會議判士ヲ免ス

海軍大佐 廣田穰
海軍少佐 犬塚惟重

<p>(各通)</p> <p>海軍大尉 圓山 英勲 同 小林 正市 同 北浦 豊男</p> <p>東京軍法會議判士ヲ命ス(以上^{十三}海軍省)</p> <p>坂田 ムメヨ</p> <p>故海軍特務中尉正七位勳五等功六級坂田類衛戰役ノ功ニ依リ特ニ金百參拾圓ヲ賜フ</p> <p>小山 空治郎</p> <p>故海軍一等水兵小山政雄戰役ノ功ニ依リ特ニ金百參拾圓ヲ賜フ</p> <p>安元 かめ</p> <p>故海軍一等機關兵安元政雄戰役ノ功ニ依リ特ニ金七拾八圓ヲ賜フ(以上^{十三}海軍省)</p> <p>海軍中佐 鈴木 嘉助</p> <p>第二課兼第一課勤務ヲ命ス</p> <p>海軍少佐 丹下 薫二</p> <p>第一課勤務ヲ命ス(以上^{十三}海軍省教育局)</p> <p>兼第一課勤務ヲ免ス 海軍少佐 大場 富吉</p> <p>同 高崎 武雄</p> <p>第三課勤務ヲ免シ第一課勤務ヲ命ス</p> <p>第一課勤務ヲ命ス 同 下坊 定吉</p> <p>同 梶岡 定道</p> <p>第三課勤務ヲ命ス(以上^{十三}水路部)</p>	<p>○雜款</p>		
<p>○郵便物發送先</p> <p>特務艦石廊宛</p> <p>自今</p> <p>吳</p>	<p>○著任、退任</p> <p>新任 大谷海軍大學校長 十二月三日著任</p> <p>前任 山本海軍大學校長 十二月四日退任</p>	<p>○電話番號變更</p> <p>青山 三七四番 軍令部參謀</p> <p>海軍大佐 濱野英次郎</p> <p>麻布區鉾町一八〇</p>	<p>○正誤</p> <p>本月一日公報(一二三二頁)「山側晴雨計」トアルハ「山測晴雨計」ノ誤</p> <p>本月三日公報辭令欄中(海軍大佐佐藤進一)トアルハ「海軍大佐後藤進一」ノ誤</p>

海軍公報 第三六二九號 大正十三年十二月四日

葦、豚、莖、
 驅一七
 潜呂二、潜呂三、潜呂二五、
 潜呂五、潜呂三、潜呂二四、
 潜呂六一、
 潜呂六〇、
 掃四、湖、子日、春風、朝風、若葉、
 初雪
 敷島、襟裳、知床、早鞆
 【馬公】 駒橋
 杉、柏、
 潜呂二九、潜呂三〇、
 【高雄】 檣、梅、楠
 潜呂二三
 【旅順】 大泊、
 大泊、
 【上海】 納田、鳥羽
 【南京】 伏見
 【九江】 勢多
 【漢口】 嵯峨
 【長沙】 保律
 【宜昌】 比良
 【重慶】 堅田
 【マニラ】 尻矢
 【タラカン】 隠戸、鳴戸

【航海中】

鶴見 (十一月二十三日「タラカン」發)
 佐多 (十一月二十九日佐世保發「タラカン」へ)
 石廊 (二日大湊發「吳」へ)
 出雲八雲、淺間 (二日「ヒロ」發「アカブルコ」へ)
 高崎 (二日旅順發「鎮海」へ)
 野島 (三日徳山發「佐世保」へ)
 關東 (三日横須賀發「吳」へ)
 利根 (四日通州發「吳」へ)
 安宅 (四日通州發「上海」へ)

(附録二頁、部内限四頁)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月四日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、山城、扶桑、迅鯨、口金剛、五十鈴、淀

【沖風】

澤風、峯風、矢風、灘風、汐風、島風、夕風、浦風、白露、三日月、波風、沼風、驅一、野風、大刀風、帆風、羽風、秋風、驅七、驅三、驅五、驅九

潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、

潛呂一三、潛呂一一、潛呂一二、

潛呂五九、潛呂五七、潛呂五八、

潛呂五五、潛呂五四、潛呂五六、

掃一、掃二、掃三、夕立、夕暮、神威、初霜、如月、響

洲崎、朝日、武藏、松江、神威、富士、青島

【浦賀】

阿武隈、驅一

【大湊】

時津風、磯風、天津風、濱風

【吳】

明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、勝力、韓崎、矢矧、日向、鬼怒

三五四

大井、天龍、比叡、長鯨

谷風、江風、葵、菊、驅四、驅六、驅二、驅八、驅一〇、驅一二

驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、

潛波七、潛波八、潛呂五三、潛呂五一、

潛呂一六、潛呂一四、潛呂一五、

潛呂一九、潛呂一七、潛呂一八、

潛呂五二、潛伊五二、潛呂二八、

潛呂二七、潛呂二六、潛伊五一

浦波、磯波、綾波、水無月、長月、

野間、能登呂、室戸、攝津、大和、

膠州、間宮

【大坂】

驅一五

【神戸】

神通

潛呂三一、潛呂六三、潛呂六四、潛伊一

【德山】

劍崎

【舞鶴】

吾妻、春日

【佐世保】

山風、稻、海風、榎

最上、對馬、宇治、龍田、夕張、陸奥、

霧島、由良、名取、長良、川内、

若宮、常磐

桃、柳、檜、櫻、樅、榎、竹、梨、

梅、栗、柿、榆、蓬、蓮、菱、

海軍公報 第三六二九號 大正十一年二月四日

一二五三

海軍公報 附録

大正十三年十二月四日(木)
海軍大臣官房

○ 雜款

○ 圖書

去ル十一月の中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

和漢書ノ部

第二門

戰時中及戰後ノ米國政府組織

ウヰリアム、フランク、ウヰロビー著
海軍少佐 雪下勝美譯 大正十三

四二九

全國勞働團體ノ現狀

中外社會通信社編 大正十三

四二七

第三門

驅逐艦「ノトウキク」

露國海軍大尉のグー、カー、クラフ著
海軍軍令部譯 大正十三

四三二

第四門

日本アルプス登山案内

鐵道省編 大正十三

四三〇

中和田、田澤、男鹿半嶋案内

鐵道省編 大正十三

四二〇

武蔵野及其周圍

島居龍藏著 大正十三

四二八

南洋の文化と富源の實際

勝願順藏著 大正十三

四二五

海軍公報 附録

南米の殖民地 藤田敏郎著 大正十三

第五門

補愛國尙武論 松井庫之助述 大正十三

第六門

力學 愛知敬二著 大正十二、修正増稿第四版

動物と人生 宮島幹之助著 大正十、増訂第三版

身體検査法 陸軍三等軍醫正 清水秀雄編 大正十三

運動生理學 吉田章信著 大正十、増訂第六版

井上内科新書 自第一巻 井上漱次郎著 大正十二
至第三巻 増訂第十四版

精神病診斷及治療學

(上巻 精神病学篇) 三宅 敏一 共著 大正十
(下巻 診断及治療學篇) 松本高三郎 共著 大正十

近世耳鼻咽喉科學 岩井一、青井五三郎 共著 大正十三

實驗外科學 三輪徳寛、吉川泰次郎 共著 増訂第三版 大正十

醫家乃藥室 長尾折三編 大正十三、第七版

實用法醫學 小南又一郎著 大正十三、増訂第三版

本邦重要事業史 東洋經濟新報社編 大正十三、再版

第八門

四二六

四二六

四三〇

四三〇

四二九

四二九

四二九

四二九

四二九

四二九

四二九

四二九

四二九

四二七

<p> 社説、経 CLASS I. Hopman, Admiral. Das Logbuch eines deutschen Seeoffiziers. Berlin, 1924. 1270 Gadow, Korvettenkapitän. Die deutsche Marine in Vergangenheit und Gegenwart. Berlin, 1924. 1268 CLASS II. Asquith H. H. The genesis of the war. London, 1923. 5961 Matsunami, N. Immunity of state ships as a contribution towards unification on the subject. London, 1924. 5659 Pohl, Heinrich. Luftkriegsrecht. Stuttgart, 1924. 1267 Mecklin, J. M. The Ku Klux Klan. A study of the American mind. N.Y., 1924. 5657 CLASS III. Beginn des Krieges, 1914. Der. Berlin. 1924. 1266 Oesterreich-Ungarns Heer und Flotte im Weltkrieg. Wien, 1924. 1265 Respondek, E. Grundlagen und Kritik des Reparation-Gutachtens. Berlin, 1924. 1269 CLASS IV. </p>	<p> Allen, H. T., General. Mein Rheinland-Tagebuch. Berlin, 1923. 1264 CLASS V. Thorndike, E. L. Educational psychology. N. Y., 1923. 3 vol. 5662 Vol. I. The original nature of man. Vol. II. The psychology of learning. Vol. III. Mental work and fatigue & individual differences & their causes. CLASS VI. Forsyth. A. B. A treatise on differential equations. London, 5th ed., 1921. 5660 CLASS VIII. Cole, G. D. H. Trade unionism and munitions. Oxford, 1923. 5658 Fischer, Franz. Die Umwandlung der Kohle in Ole. Berlin, 1924. Bd. II der Chemie der Kohle. 1272 Jessen, Sydney. Die Weltkrissen der englischen Petroleumindustrie. Berlin, 1923. 1271 </p>
--	---

1333

海軍公報

第三千六百三十號

大正十三年十二月五日(金)
海軍大臣官房

○通牒

經豫第六五三號

大正十三年十二月五日

海軍省經理局長 深水貞吉

○各支出官殿

豫算現況報告書ニ關スル件

海軍會計規程第三十七條ニ依ル豫算現況報告書ハ本年ニ限リ十二月二十七日迄ニ到達スル様提出相成度
右申進ス

追テ支出額欄中支出額ハ十二月二十日迄トシ支出見込額ハ十二月二十一日以降ノコトト致度

○訓令

海軍大佐 田子島茂利

自今滯在地ヲ佐世保ニ指定ス

○辭令

海軍省出仕海軍少佐 副島 大助
海軍大臣官房ニ於テ服務スヘシ(以上^計海軍大臣)

海軍技手 太田 周平

研究部勤務ヲ免シ工作課勤務ヲ命ス

海軍技手 森 茂

工作課勤務ヲ命ス(以上^計海軍技術研究所)

海軍中佐 大澤 玄養

海軍技術研究所研究部長海軍機關大佐末常共介著任迄同職代理ヲ命ス(以上^計海軍技術研究所)

○雜款

○司令潜水艦變更

第十六潜水艦司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ呂號第十九潜水艦ヨリ呂號第十七潜水艦ニ變更セリ

○司令艇變更

海軍公報 第三六三〇號 大正十三年十二月五日

一二五五

第十一掃海隊司令本月四日司令艇ヲ春風ヨリ朝風ニ變更セリ

○特務艦石廊行動豫定中變更(十一月十一日)

地名 着 後

本隊ハ本隊日二十一日發航セリ

○郵便物發送先日二十日發航セリ

○「冬只末」出航往報(十二月三日)

○「冬只末」出航往報(十二月三日)

本年初發來集計

静岡縣 患者 四名
有菌鼠 六頭
兵庫縣 患者 三名
有菌鼠 十七頭

○正誤

本月四日公報一二五〇頁海軍大佐松平勝ノ辭令日附(海軍省)ハ(海軍省)ノ誤

○指令傳達

○指令傳達

○指令傳達

○指令傳達

○指令傳達

○指令傳達

○指令傳達

○指令傳達

○指令傳達

○指令傳達

海軍大臣 齋藤實

大正十三年十二月五日(金)

○艦船所在

▲印ハニハホヲ
指定ヲ要セズ

○十二月五日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、山城、扶桑、▽迅鯨、口金剛、五十鈴、淀

▽沖風、澤風、峯風、矢風、▽濰風、汐風、島風、夕風、浦風、白露、三日月、▽波風、沼風、驅一、野風、▽太刀風、帆風、羽風、秋風、▽驅七、驅三、驅五、驅九

▽潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、▽潛呂一三、潛呂一一、潛呂一二、▽潛呂五九、潛呂五七、潛呂五八、▽潛呂五五、潛呂五四、潛呂五六

▽掃一、掃二、掃三、夕立、夕暮、神風、初霜、如月、響

【浦賀】

阿武隈、驅一、洲崎、朝日、武藏、松江、神威、富士、▽時津風、磯風、天津風、濱風

【大湊】

▽潛呂二〇、潛呂二一、潛呂二二

青島

【吳】 明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戶、伊勢、勝力、韓崎、矢矧、日向、鬼怒

大井、▽天龍、比叡、長鯨

谷風、江風、葵、菊、驅四、▽驅六、驅二、驅八、▽驅一〇、驅一二、▽驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二

▽潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、潛波七、潛波八、▽潛呂五三、潛呂五一、▽潛呂一六、潛呂一四、潛呂一五、▽潛呂一七、潛呂一八、潛呂一九

▽潛呂五二、潛伊五二、▽潛呂二八、潛呂二七、潛呂二六、潛伊五一

浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月

野間、能登呂、室戶、攝津、大和、膠州、間宮

【大阪】

【神戸】

【徳山】

【舞鶴】

【佐世保】

▽山風、檜、海風、板、最上、對馬、宇治、龍田、夕張、陸奥、霧島、▽由良、名取、長良、川内、若宮、常磐

▽桃、柳、檜、樫、▽樅、樺、竹、梨、▽梅、栗、柿、楡、▽蓬、蓮、蓼、▽菱

【航海中】

華、歐、董、
 區椿、樺、楨、桑、
 驅一七
 潜呂一、潜呂二、潜呂三五、
 區潜呂四、
 潜呂五、潜呂三、潜呂二四、
 區潜呂六一、
 潜呂六〇、潜呂六一
 掃四、
 區朝風、潮、
 子日、春風、若葉、
 初雪
 敷島、襟裳、知床、
 早鞆、野島
 【馬公】
 駒橋
 區松、柏、杉、楠
 區潜呂二九、潜呂三〇、
 潜呂三一
 區潜呂二三
 高崎
 【旅順】
 區桐、櫻、橘、樺
 【上海】
 區田、鳥羽、安宅
 【南京】
 伏見
 【九江】
 勢多
 【漢口】
 嵯峨
 【長沙】
 保律
 【宜昌】
 比良
 【重慶】
 堅田
 【マニラ】
 鳴戸

鶴見 (十一月二十二日「タラカン」發)
 佐多 (十一月二十九日佐世保發「タラカン」)
 石廊 (一日大湊發「吳」)
 出雲八雲、淺間 (二日「ヒロ」發「アカブル」)
 關東 (三日横須賀發「吳」)
 利根 (四日吳淞發「青島」)
 隱戸 (四日「タラカン」發「徳山」)
 大泊 (四日亞港發「小樽」)
 尻矢 (五日「マニラ」發「徳山」)

(部内限二頁)

海軍公報

第三千六百三十一號

大正十三年十二月六日(土)

海軍大臣官房

官房第三六四〇號ノ三

大正十三年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十三年十二月一日

海軍大臣財部 彪

歳出臨時部

款	項	目	節	解疏	會計科目 電信略號
(艦艇製造費)	(補助艦艇製造費)	賞與			タニ
(艦船整備費)	(艦船改装費)	賞與			ナフ
(恩給事務取扱費)	(恩給事務取扱費)	賞與			ヤト
(震災復舊費)	(官衙學校其他建造物復舊費)	賞與			

<p>○通牒</p> <p>海人第一二三號</p> <p>大正十三年十二月六日</p> <p>海軍省人事局長 左近司政三</p> <p>各廳長 殿</p> <p>士官寫眞提出ノ件</p> <p>海軍准士官以上履歷書及身上取扱規則第十一條ノニニ依ル士官ニ任セラレタル者及尉官ヨリ佐官ニ進級シタル者ノ寫眞提出方々本人ニ御示達相成度右照會ス</p>	<p>○辭令</p> <p>海軍大佐 中島 晋</p>
---	-----------------------------

海軍公報 第三六三二號

大正十三年十二月六日

一二五九

軍艦長門 在役艦タル間 同艦長 在職中 特別俸ヲ賜フ
(十四 海軍省)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第二水雷戰隊司令官ハ 旗艦ヲ 北上ヨリ 五十鈴ニ、第二
潜水戰隊司令官ハ 旗艦ヲ 平戸ヨリ 長鯨ニ 十二月一日孰
レモ變更セリ

○ 郵便物發送先

軍艦長門宛

十二月十一日迄ニ 到達見込ノモノハ 館 山
其ノ後ハ 横 須 賀

○艦船所在

指定ノ艦ヲ示ス

○十二月六日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、
 磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、山城、
 扶桑、迅鯨、口金剛、五十鈴、淀、
 沖風、澤風、峯風、矢風、灘風、汐風、
 島風、夕風、浦風、白露、三日月、波風、
 沼風、驅一、野風、太刀風、帆風、
 羽風、秋風、驅七、驅三、驅五、
 驅九

潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、
 潛波一三、潛波一、潛波一二、
 潛波五九、潛波五七、潛波五八、
 潛波五五、潛波五四、潛波五六、
 掃一、掃二、掃三、夕立、夕暮、神風、
 初霜、如月、響

洲崎、朝日、武藏、松江、神威、富士、

【浦賀】

阿武隈、驅一

【大湊】

時津風、磯風、天津風、濱風、
 青島、
 潛呂二〇、潛呂二一、潛呂二二

【吳】

明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、
 伊勢、勝利、韓崎、矢矧、日向、鬼怒、

大井、天龍、比叡、長鯨、
 谷風、江風、葵、菊、驅四、驅六、
 驅二、驅八、驅一〇、驅一二、
 驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二、
 潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、
 潛波七、潛波八、潛波五三、潛波五一、
 潛波一六、潛波一四、潛波一五、
 潛波一七、潛波一八、潛波一九、
 潛波二七、潛波二六、潛波二八、
 浦波、磯波、綾波、水無月、長月、
 菊月

野間、能登呂、室戸、攝津、大和、
 膠州、間宮、劍崎

驅一五

神通

吾妻、春日

山風、檜、海風、榎

最上、對馬、宇治、龍田、夕張、陸奥、
 霧島、由良、名取、長良、川内、
 若宮、常磐

桃、柳、檜、櫻、樅、榎、竹、梨、
 梅、栗、柿、榎、蓮、茶、桑、
 葎、蕨、蕨、椿、櫻、榎、桑

佐世保

舞鶴

神戶

大阪

神戶

神戶

神戶

神戶

神戶

神戶

驅一七

潜呂一、潜呂二、潜呂二五、潜呂四、
潜呂五、潜呂三、潜呂二四、潜呂六一、
潜呂六〇、潜呂六一
掃四、朝風、潮、子日、春風、若葉、
初雪
敷島、襟裳、知床、早朝、野島

【馬公】

駒橋

松、柏、杉、榊

潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三三

【鎮海】

楓、桂、梅、楠
潜呂三三

【旅順】

桐、櫻、橘、樟
洞田、鳥羽、安宅

【上海】

伏見

【南京】

勢多

【九江】

嵯峨

【漢口】

保律

【長沙】

比良

【宜昌】

堅田

【重慶】

【航海中】

鶴見 (十一月二十二日「タラカン」發)

佐多 (十一月二十九日佐世保發)「タラカン」へ)

石廊 (一日大湊發—吳へ)

出雲 八雲 淺間 (二日「ヒロ」發—「アカブル」へ)

關東 (三日横須賀發—吳へ)

利根 (四日吳發—青島へ)

隱戸 (四日「タラカン」發—徳山へ)

大泊 (四日亞港發—小樽へ)

鳴戸 (四日「タラカン」發—「マニラ」へ)

尻矢 (五日「マニラ」發—徳山へ)

高崎 (五日鎮海發—佐世保へ)

(部内限二頁)

海軍公報

第三千六百三十三號

大正十三年十二月八日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房第三七〇六號

大正十三年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十三年十二月八日

海軍大臣 財 部 彪

歳出臨時部

款	項	目	節	解説	會計科目
(災害費)					
	佐世保工廠現開費 其他風水害復舊費				フソ
	吳鎮守府管内風水 害復舊費	建造物復舊			フツ
		藤川病院温泉引 用設備其他復舊			フナ

官房第三七〇七號

大正十三年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十三年十二月八日

海軍大臣 財 部 彪

歳出臨時部

款	項	目	節	解説	會計科目
	第四艦隊艦艇救 護及復舊費				コハ
	内國旅費	特ニ要スル 出張旅費			コト
	工 費				コオ
	材料費				コリ

○訓 令

海軍公報 第三六三三號

大正十三年十二月八日

第三六三三

海軍機關大佐 角田 常治郎
自今滯在地ヲ東京ニ指定ス(ハシ海軍大臣)

○ 辭 令

海軍主計大尉 濱野 春男
兼工作課勤務ヲ命ス(計明海軍技術研究所)

海軍主計少佐 佐野 嘉末
海軍技術研究所會計課長主計大佐服部正之著任迄同職代理ヲ命ス(ハシ同)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第五戰隊司令官ハ本月六日旗艦ヲ由良ヨリ名取ニ變更セリ

○ 司令艇指定

第二掃海隊司令ハ本月六日司令艇ヲ神風ニ指定セリ

○ 司令驅逐艦變更

第二十七驅逐隊司令ハ本月五日司令驅逐艦ヲ菱ヨリ藤ニ變更セリ

第二十五驅逐隊司令ハ本月五日司令驅逐艦ヲ樺ヨリ雁ニ變更セリ

○ 司令潜水艦變更

第二十六潜水隊司令ハ本月三日司令潜水艦ヲ呂號第六十一潜水艦ヨリ呂號第六十潜水艦ニ變更セリ

○ 司令艇變更

第六掃海隊司令ハ本月六日司令艇ヲ菊月ヨリ浦波ニ變更セリ

○ 着任、退廳

新任 水路部長 植村 信男 十二月五日著任

前任 水路部長 内田 虎三郎 十二月五日退任

新任 菊井海軍省教育局第一課長 十二月五日著任

前任 百武海軍省教育局第一課長 十二月六日退廳

豫備役海軍機關少佐從六位勳四等山田茂本月一日
吳海軍病院ニ於テ死去ス

大正十三年十二月八日

艦船所在

指定ヲ受ケル

○十二月八日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、

磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、口山城、

扶桑、▽迅鯨、口金剛、▽五十鈴、淀

区沖風、澤風、峯風、矢風、区灘風、汐風、

島風、夕風、浦風、白露、三日月、区波風、

沼風、驅一、野風、区太刀風、帆風、

羽風、秋風、区驅七、驅三、驅五、

驅九

潜波二、潜波二、潜波九、潜波一〇、

区潜呂三、潜呂一、潜呂二、

区潜呂五九、潜呂五七、潜呂五八、

区潜呂五五、潜呂五四、潜呂五六、

区掃一、掃二、掃三、区神風、夕立、夕暮、

初霜、如月、響

洲崎、朝日、武藏、松江、神威、富士、

【浦賀】阿武隈、驅一

【大湊】区時津風、磯風、天津風、濱風、

区潜呂二〇、潜呂二一、潜呂二二、

青島

【吳】明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戶、

伊勢、勝力、韓崎、矢矧、日向、鬼怒、

大井、▽天龍、比叡、▽長鯨

谷風、江風、葵、菊、驅四、区驅六、

驅二、驅八、区藤、萩、薄、蔦、

区驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、区潜呂五三、潜呂五一、

区潜呂一六、潜呂一四、潜呂一五、

区潜呂一七、潜呂一八、潜呂一九、

潜呂二二、潜伊五二、区潜呂二八、

潜呂二七、潜呂二六、潜伊五一

区浦波、磯波、綾波、水無月、長月、

菊月

野間、能登呂、室戸、攝津、大和、

膠州、間宮、劍崎、石廊

【大 阪】驅一五

【神 戶】神道

潜呂三二、潜呂六三、潜呂六四、潜伊一

【德 山】關東

吾妻、春日

【舞 鶴】吾妻、春日

【佐世保】山風、檜、海風、榎

最上、對馬、宇治、龍田、夕張、陸奥、

霧島、▽名取、長良、由良、川内、

若宮、常磐

区桃、柳、檜、樫、区榎、縱、梨、竹、

区梅、栗、柿、楡、区蓬、蓮、菱、葦、

海軍公報 第三六三三號 大正十三年十二月八日

二二六五

蕨、**区**椿、**樺**、**榎**、**桑**、**羅**一七
 潜呂一、潜呂二、潜呂三五、**区**潜呂四、
 潜呂五、潜呂三、潜呂二四、**区**潜呂六〇、
 潜呂六一、潜呂六二
 潜四、**区**朝風、潮、子日、春風、若葉、
 初雪
 敷島、襟裳、知床、早駒、高崎
馬公 駒橋
 松、柳
高 雄 **区** 柏、杉
区 潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三三
鎮海 **区** 楓、桂、梅、楠
区 潜呂三三
旅 順 **区** 桐、櫻、橘、樟
青島 **区** 利根
上海 隅田、鳥羽、安宅
南京 伏見
九江 勢多
漢口 磯崎
長沙 保津
宜昌 比良
重慶 堅田
航海中
 鶴見 (十一月三十日「タラカン」發)

佐多 (十一月二十九日佐世保發「タラカン」)
 出雲八雲 淺間 (三日「ヒロ」發「アカプル」
 へ)
 隠戸 (四日「タラカン」發「徳山」)
 大泊 (四日祖港發「小樽」)
 鳴戸 (四日「タラカン」發「マニラ」)
 尻矢 (五日「マニラ」發「徳山」)
 区 隊 (七日佐世保發「藤原」)
 野島 (七日佐世保發「馬公」)

(部内限一頁)

海軍公報

第三千六百三十三號

海軍大臣官房

大正十三年十二月九日(火)

○令達

官房第三五九七號ノ三

大正十三年度歳入科目左ノ通追加ス

大正十三年十二月九日

海軍大臣 財部 彰

歳入經常部

(官業及官有財産收入)

(官有物貸下料)

款

項

目

物品貸下料

○辭令

(各通)

海軍中佐 降幡 敏
海軍中佐 柏崎 治

○雜款

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス(海軍省)
海軍特務少尉 青木 柳太郎
第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局)

○特務艦大泊行動豫定

地名

着

發

亞 港

十二月七日

十二月四日

小 樽

十二月七日

十二月十三日

亞 港

十二月十八日

十二月二十二日

小 樽

十二月二十六日

○郵便物發送先

第二潜水戦隊司令部宛

自今

軍艦長鯨

海軍公報 第三六三三號 大正十三年十二月九日

一三六七

1346

○艦船所在

指、印、ハ、ホ、ロ、
定、タ、ニ、セ、ス、

○十二月九日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、
磐手、日進、風翔、山口城、扶桑、
迅鯨、口金剛、五十鈴

沖風、澤風、峯風、矢風、波瀾風、汐風、
島風、夕風、浦風、波風、沼風、
驅一、野風、太刀風、帆風、羽風、
秋風、驅七、驅三、驅五、驅九、
潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、
潛波一三、潛波一四、潛波一五、
潛波一六、潛波一七、潛波一八、
潛波一九、潛波二〇、
潛波二一、潛波二二、
潛波二三、潛波二四、
潛波二五、潛波二六、
潛波二七、潛波二八、
潛波二九、潛波三〇、
潛波三一、潛波三二、
潛波三三、潛波三四、
潛波三五、潛波三六、
潛波三七、潛波三八、
潛波三九、潛波四〇、
潛波四一、潛波四二、
潛波四三、潛波四四、
潛波四五、潛波四六、
潛波四七、潛波四八、
潛波四九、潛波五〇、
潛波五一、潛波五二、
潛波五三、潛波五四、
潛波五五、潛波五六、
潛波五七、潛波五八、
潛波五九、潛波六〇、
潛波六一、潛波六二、
潛波六三、潛波六四、
潛波六五、潛波六六、
潛波六七、潛波六八、
潛波六九、潛波七〇、
潛波七一、潛波七二、
潛波七三、潛波七四、
潛波七五、潛波七六、
潛波七七、潛波七八、
潛波七九、潛波八〇、
潛波八一、潛波八二、
潛波八三、潛波八四、
潛波八五、潛波八六、
潛波八七、潛波八八、
潛波八九、潛波九〇、
潛波九一、潛波九二、
潛波九三、潛波九四、
潛波九五、潛波九六、
潛波九七、潛波九八、
潛波九九、潛波一〇〇

初霜、如月、響、
洲崎、朝日、武藏、松江、神威、富士、
阿武隈、驅一、
長門、阿蘇、
白露、三日月

【浦賀】

【大湊】

【館山】

【大湊】

【大湊】

【大湊】

【大湊】

【小樽】

大泊、明石、千歳、木曾、球磨、多摩、平戸、
伊勢、勝力、韓崎、矢矧、日向、鬼怒、
大井、天龍、比叡、長鯨、
谷風、江風、葵、菊、驅四、驅六、
驅二、驅八、驅一〇、驅一二、
驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二、
潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、
潛波七、潛波八、潛波五三、潛波五一、
潛波一六、潛波一四、潛波一五、
潛波一七、潛波一八、潛波一九、
潛波二二、潛波二二、潛波二八、
潛波二七、潛波二六、潛波二五、
潛波、磯波、綾波、水無月、長月、
菊月、
野間、能登呂、室戸、攝津、大和、
膠州、間宮、石廊、
驅一五、
神通

【大阪】

關東、
吾妻、春日、
山嵐、檜、海風、板、
最上、對馬、宇治、龍田、夕張、陸奥、
霧島、名取、長良、由良、川内、

【德山】

【佐世保】

【神戶】

【大坂】

【神戶】

【德山】

【佐世保】

【神戶】

【大坂】

【神戶】

海軍公報 第三六三三號 大正十三年十二月九日

二六九

若宮、常磐
 〔桃、柳、檜、樅、榎、樫、榎、樺、椴、梨、竹、
 〔梅、栗、柿、榆、〔蓬、蓮、菱、葦、
 葦、〔椿、櫻、榎、桑、驅一七
 潜呂一、潜呂二、潜呂二五、〔潜呂四、
 潜呂五、潜呂三、潜呂二四、〔潜呂六〇、
 潜呂六一、潜呂六一
 掃四、〔朝風、潮、子日、春風、若葉、
 初雪
 敷島、襟裳、知床、早鞆
 〔嚴原、〔厥
 〔馬公〕、駒橋
 松、榊
 〔高〕、〔雄〕、〔柏〕、杉
 〔潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三一
 〔鎮海〕、〔楓〕、桂、梅、楠
 〔旅順〕、〔桐〕、櫻、橘、樟
 〔青島〕、〔利根〕
 〔上海〕、〔湖田〕、鳥羽、安宅
 〔南京〕、〔伏見〕
 〔九江〕、〔勢多〕
 〔漢口〕、〔嵯峨〕
 〔長沙〕、〔保律〕
 〔宜昌〕、〔比良〕

【重慶】 堅田
 【マニラ】 鳴戸
 【航海中】
 佐多 (十一月二十九日佐世保發「タラカン」へ)
 出雲八雲、淺間 (二日「ヒロ」發「アカブルコ」へ)
 隱戸 (四日「タラカン」發「徳山」へ)
 尻矢 (五日「マニラ」發「徳山」へ)
 野島 (七日佐世保發「馬公」へ)
 淀 (八日横須賀發「二見」へ)
 高崎 (八日佐世保發「吳」へ)
 青島 (九日大湊發「室蘭」へ)
 劍崎 (九日吳發「徳山」へ)

(部内限一頁)

海軍公報

第三千六百三十四號

海軍大臣官房

大正十三年十二月十日(水)

○ 通 牒

經艦第五四九號

大正十三年十二月十日

海軍省經理局主任出納官吏 河 勉 三

艦隊所屬艦艇分任出納官吏殿

豫算現況報告書ニ關スル件

支出官ニ報告上必要ニ付海軍會計規程書式第十六號ニ準シ豫算現況報告書調製ノ上十二月二十五日迄ニ到達スル様提出相成度
右照會ス

追テ同書式支出額欄中支出額ハ十二月二十日迄トシ
支出見込額及定額戻入見込額ハ十二月二十一日以降
ノコトト致度

○ 雜 款

○ 著任、退廳

新任 海軍艦政本部總務部長 渡邊海軍少將 九日著任

新任 海軍省機關局第一 遠藤海軍機關大佐 八日著任
課長兼第二課長

前任 海軍省機關局 後藤海軍機關少將 八日退廳
第一課長

前任 海軍省機關局 小野寺海軍機關大佐 八日退廳
第二課長

海軍公報 第三六三四號 大正十三年十二月十日

一二七

○十二月十日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、磐手、日進、風翔、戸山城、扶桑、迅鯨、口金剛、五十鈴

沖風、澤風、峯風、矢風、霹靂風、汐風、島風、夕風、浦風、波風、沼風、驅一、野風、太刀風、帆風、羽風、秋風、驅七、驅三、驅五、驅九

潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、潛波一三、潛波一、潛波一二、潛波五九、潛波五七、潛波五八、潛波五五、潛波五四、潛波五六、掃一、掃二、掃三、神風、夕立、夕暮、初霜、如月、響

洲崎、朝日、武藏、松江、神威、富士、阿武隈、驅一

長門、阿蘇

白鷺、三日月

時津風、磯風、天津風、濱風

潛呂二〇、潛呂二二、潛呂二二

鶴見

【浦賀】

【館山】

【大湊】

【德山】

【新鶴】

【佐世保】

【神戶】

【大坂】

【野間】

【能登呂】

【室戸】

【攝津】

【大和】

【神通】

【潛呂三一】

【潛呂六三】

【潛呂六四】

【潛伊一】

【劍崎】

海軍公報 第三六三四號 大正十三年十二月十日

【與】 明石、千歲、木曾、丹波、多摩、平戸、伊勢、勝力、韓崎、矢矧、日向、鬼怒、大井、天龍、比叡、長鯨、谷風、江風、葵、菊、驅四、驅六、驅二、驅八、驅一〇、驅一二、驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二、潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、潛波七、潛波八、潛波五三、潛波五一、潛波一六、潛波一四、潛波一五、潛波一七、潛波一八、潛波一九、潛波二二、潛波二六、潛波二八、潛波二七、潛波二六、潛波二八、浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、野間、能登呂、室戸、攝津、大和、膠州、間宮、石廊、高崎、驅一五

- 若宮、常磐
- 区桃、柳、檜、櫻、区樞、縦、梨、竹、
- 区柗、栗、柿、榆、区蓬、蓮、麥、菱、葦、
- 葦、区椿、梅、榎、桑、驅一七
- 潜呂一、潜呂二、潜呂二五、区潜呂四、
- 潜呂五、潜呂三、潜呂二四、区潜呂六〇、
- 潜呂六一、潜呂六一
- 掃四、区朝風、潮、子日、春風、若葉、
- 初雪
- 敷島、襟裳、知床、早朝
- 【殿原】区敷島、
- 【馬公】駒橋
- 区柏、杉、松、榎
- 区潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三三
- 【鎮海】区楓、桂、梅、楠
- 区潜呂三三
- 【旅順】区桐、櫻、橘、樟
- 【青島】区利根
- 【上海】区隅田、鳥羽、安宅
- 【南京】伏見
- 【九江】勢多
- 【漢口】嵯峨
- 【長沙】保津
- 【宜昌】比良
- 【重慶】堅田

- 【マニラ】 鴨月
- 【航海中】
- ト出雲 八雲、浅間 (二日「ヒロ」發「アカプルコ」)
- （一）
- 麗戶 (四日「タラカン」發「徳山」)
- 尻矢 (五日「マニラ」發「徳山」)
- 野島 (七日佐世保發「馬公」)
- 淀 (八日横須賀發「三見」)
- 青島 (九日大湊發「室蘭」)
- 佐多 (九日「タラカン」發「マニラ」)
- 關東 (十日徳山發「舞鶴」)

(部内限ナシ)